



平成 22 年 7 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社 L T T バイオファーマ
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴木 巖
(コード番号 4 5 6 6 東証マザーズ)
問 合 せ 先 臨床開発部部长 村上 雅弘
(T E L 0 3 - 5 7 3 3 - 7 3 9 1)

N E D O 「イノベーション推進事業」に係る助成事業への採択決定に関する

お知らせ (ステルス型ナノ粒子 PGE1 製剤の実用化開発)

この度、当社が提案する「ステルス型ナノ粒子 PGE1 製剤の実用化開発」が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の助成事業に採択されることが決定いたしましたのでお知らせいたします。本件は、NEDO によって民間企業等が実施する優れた技術の実用化開発を支援する平成 22 年度「イノベーション推進事業」に係る研究テーマの公募に対し、提案事業として申請を行っていたものであり、同機構による審査を経て今般採択が通知されたものです。

記

1. 助成事業の概要

ステルス型ナノ粒子 PGE1 製剤は、現在臨床で汎用されている PGE1 注射製剤の副作用、作用の弱さ、低い QOL (Quality of Life : 生活の質) という問題点を DDS 技術により解決することを目的とした次世代 PGE1 製剤であり、医療ニーズの高い慢性動脈閉塞症、間歇性跛行、及び脊柱管狭窄症に対する安全かつ有効な新規治療薬として医療現場に提供することを目指しております。

当社が開発した慢性動脈閉塞症治療薬、リポ PGE1 製剤 (リプル、パルクス) は 1988 年に上市され、ピーク時では国内で 500 億円、現在でも 200 億円程度の売り上げを記録している有用な医薬品です。しかしながら、リポ PGE1 製剤は、毎日の点滴投与が必要となり患者様は入院治療を余儀なくされるため、QOL の観点から徐放性 PGE1 製剤の開発が、医療現場で強く待ち望まれております。

ステルス型ナノ粒子 PGE1 製剤は、1 回の投与で長期間の治療効果の持続を可能にし、投与回数の軽減や入院治療から通院治療への切り替えを可能にするなど、患者様の QOL を顕著に向上させるという特長を備えております。現在までに動物試験において徐放性とターゲティングに関する顕著な効果を確認しており、実用化開発が成功すれば、徐放性とターゲティング能を併せ持つ画期的な PGE1 製剤になるものと考えております。

2. 助成事業に対する支援の概要

| | |
|------|---|
| 事業名称 | ステルス型ナノ粒子 PGE1 製剤の実用化開発 |
| 助成期間 | 平成 22 年 8 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日 |
| 助成内容 | 助成事業において計上された費用の 3 分の 2 以内 |
| 助成金額 | 未定 ※ 同機構によると当該助成事業に対する一社あたりの助成額は 1 億円程度までとされております |

3. 今後の見通し

本件に係る、助成金額及び今後の当社グループの業績に与える影響及び見通しにつきましては現在確認並びに精査中であり、明らかになり次第発表させていただきます。

以 上